

深川市 男女共同参画に関する市民意識調査

アンケートご協力をお願い

日ごろから、市政の推進にご理解とご協力をいただき、誠にありがとうございます。

本市では、平成31年3月に「深川市男女共同参画計画（第2次計画見直し版）」を策定し、市民の意識づくりや、あらゆる分野への男女共同参画の促進に取り組んでまいりました。

この調査は、市民のみなさんの男女平等や男女共同参画に対するお考えを把握し、今後の市政の推進にあたっての参考とさせていただくために実施するものです。

今回アンケートをお願いする方は、市内にお住まいの満18歳以上のみなさまの中から、令和4年3月1日現在の住民基本台帳から年代別に無作為抽出で選ばせていただきました1,000名の方々です。

ご回答の内容は、すべて統計的に処理し、調査の目的以外に使用することはありませんので、個人の秘密が漏れたり、ご迷惑をおかけすることはありません。

お忙しいところ、誠に恐縮ですが、調査の趣旨をご理解いただき、ご協力くださいますようお願いいたします。

令和4年3月

深川市男女共同参画推進本部長

深川市長 山下 貴史

【ご記入に際して】

1. 質問には必ず本人（封筒の宛名の方）が回答してください。ただし、ご高齢などで記入が難しい場合は、本人の回答内容をご家族等が代筆いただいても構いません。
2. 回答は設問事の説明にしたがい、記述回答もしくは、あてはまる番号に○をつけてください。また、回答が「その他（ ）」の場合は、その内容を（ ）内に簡潔にご記入ください。
3. ご記入いただいた調査票は、**令和4年4月15日（金）まで**に、同封の返信用封筒に入れてご返送ください。
4. この調査に関するご質問については、市の担当課までお問い合わせください

【お問い合わせ】

深川市 企画総務部 企画財政課 企画係
TEL (0164)26-2246 FAX (0164)22-8134
E-mail kikaku@city.fukagawa.lg.jp

2. 男女平等意識について

問6 男性と女性は憲法のうえで平等とされていますが、あなたは次にあげる分野で、今の社会全体を見て男女の地位は平等になっていると思いますか。①から⑦について、それぞれあてはまるものを1つずつ選んで○をつけてください。

回答区分 分野	男性の方が非常に優遇されている	どちらかといえば男性の方が優遇されている	平等	どちらかといえば女性の方が優遇されている	女性の方が非常に優遇されている	わからない
①家庭生活の中で	1	2	3	4	5	6
②職場の中で	1	2	3	4	5	6
③学校教育の場で	1	2	3	4	5	6
④政治の場で	1	2	3	4	5	6
⑤法律や制度のうえで	1	2	3	4	5	6
⑥社会通念・慣習などで	1	2	3	4	5	6
⑦町内会やNPOなど地域活動の場で	1	2	3	4	5	6

問7 あなたは、現在、女性の意見が政治や行政にどの程度反映されていると思いますか。【○は1つだけ】

- | |
|---|
| <ol style="list-style-type: none"> 1. 十分反映されている 2. ある程度反映されている 3. あまり反映されていない 4. ほとんど反映されていない 5. わからない |
|---|

問11 男性が“介護休業制度”を利用することについて、あなたはどのように思いますか。
【〇は1つだけ】

1. 男性も介護休業を積極的に取るべきだと思う
2. 男性も介護休業制度を取ることは賛成だが、現実的には取りづらいと思う
3. 介護は女性がするべきであり、男性が休業制度を利用する必要はない
4. その他（ ）
5. わからない

問12 あなたは、今の社会は女性が働きやすい状況にあると思いますか。【〇は1つだけ】

1. 働きやすい
2. おおむね働きやすい
3. あまり働きやすすくない
4. 働きづらい
5. わからない

問13 問12で「3. あまり働きやすすくない」、「4. 働きやすすくない」と回答された方へおたずねします。それはどのようなことが要因だと思いますか。【該当するもの全てに〇】

1. 賃金、昇進、昇格に差がある
2. 仕事内容や、教育訓練、配置、配属に差がある
3. 能力を正當に評価しない
4. 育児・介護休業が取得できない
5. 育児・介護退職後の再就職が難しい
6. 子どもの看護や、家族の介護などで休暇を取ることに對して、周囲の理解が得られない
7. 女性の生理や、妊産婦などに対する周囲の配慮、支援制度が十分ではない
8. 家族の理解が得られない
9. 家事、育児、介護などと仕事の両立が難しい
10. 育児・介護に対する支援制度や施設が十分ではない
11. その他（ ）
12. わからない

問14 あなたの地域活動や社会活動、ボランティア活動への参加状況についてうかがいます。
【現在参加しているもの全てに〇】

1. 町内会・婦人会・子ども会活動
2. 趣味・スポーツ・教養講座などの活動
3. PTA活動
4. 社会奉仕・ボランティア活動・NPO活動
5. 市役所などの委員会・審議会委員などの公的活動
6. 消費生活や環境・人権・教育問題などの学習活動
7. 職業に役立つ知識・技術の習得活動
8. その他（ ）

問15 あなたが問14のような各種活動に参加するうえで、支障となることはどのようなことだと思いますか。【該当するもの全てに○】

1. 仕事が忙しい
2. 家事や育児、介護が忙しい
3. 職場における上司や周囲の理解が得られない
4. 家族の理解が得られない
5. 活動する仲間や場所がない
6. 活動に対する情報が少ない
7. 特に支障はない
8. その他 ()
9. わからない

問16 ワーク・ライフ・バランスを実現するためには、あなたはどのようなことが必要だと思いますか。【該当するもの全てに○】

1. 社会の中で、家事、育児、介護、地域活動等についての評価を高める
2. 周囲の人が、夫婦の役割分担等についての当事者の考え方を尊重する
3. 職場における上司や周囲の理解を進める
4. 労働時間短縮や休暇制度を充実させ、仕事以外の時間をより多く持てるようにする
5. 家事、育児、介護等に対する関心を高めるよう啓発や情報提供を行う
6. 国や地方自治体などの研修等により、家事、育児、介護等の技術を高める
7. 育児、介護、地域活動等を行うためのネットワーク作りを進める
8. 家庭生活や地域活動と仕事の両立などの問題について、相談しやすい窓口を設ける
9. 特に必要なことはない
10. その他 ()
11. わからない

問17 女性の方にお聞きします。これまでに、経済的な理由などから、生理用品を購入するのに苦労したことはありますか。【○は1つだけ】

1. 常に苦労している
2. ときどき苦労している
3. 苦労したことはない
4. その他 ()

問18 女性の方にお聞きします。経済的な理由などから生理用品を購入できない、または使用できない、いわゆる「生理の貧困」について、あなたはどのような支援があったらよいと思いますか。【該当するもの全てに○】

1. 生理用品の無料配布
2. 生理用品の購入費用の補助または助成
3. 生理についての正しい知識を広める
4. 生理について相談できる窓口を増やす
5. その他 ()

